

【館蔵品展】
明治時代の
サムライたち
——松江藩士の行く末——

会期

令和6年1月26日(金)
～3月31日(日)

変化の時代、それぞれの選択。



明治時代初期の松江藩士の姿(個人蔵、当館寄託)

松江市立
松江歴史館

明治時代の
サムライたち

松江藩士の行く末

松江城下にはたくさんの武士がいた
失業した士族は、生き方の選択をする



(江戸時代後期、当館蔵)



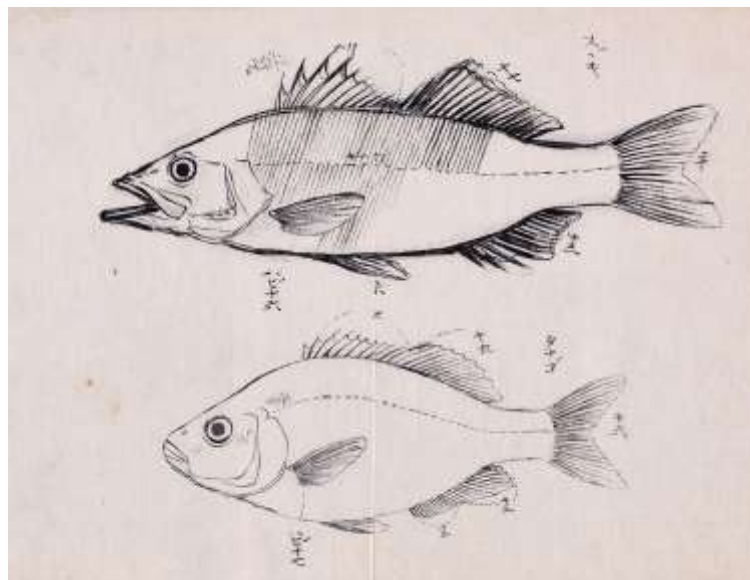
松江市立
松江歴史館

文明開化で生まれた職業 散髪屋を開いた 瀧野多三郎



明治時代の
サムライたち
— 松江藩士の行く末 —

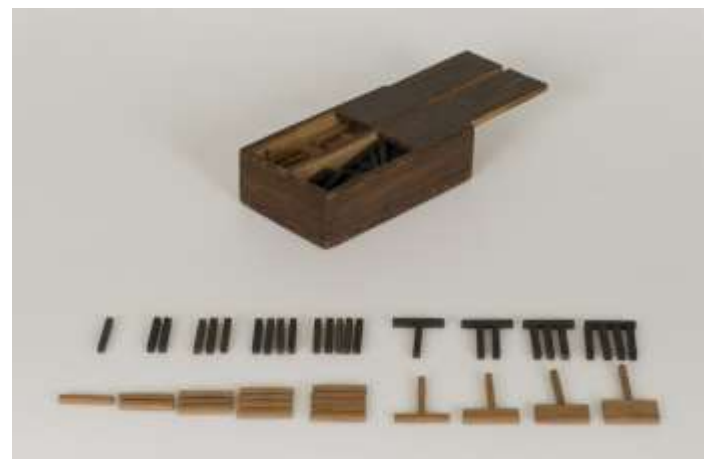
松江市立
松江歴史館



画家 堀宗太郎が描いた魚図(当館蔵)

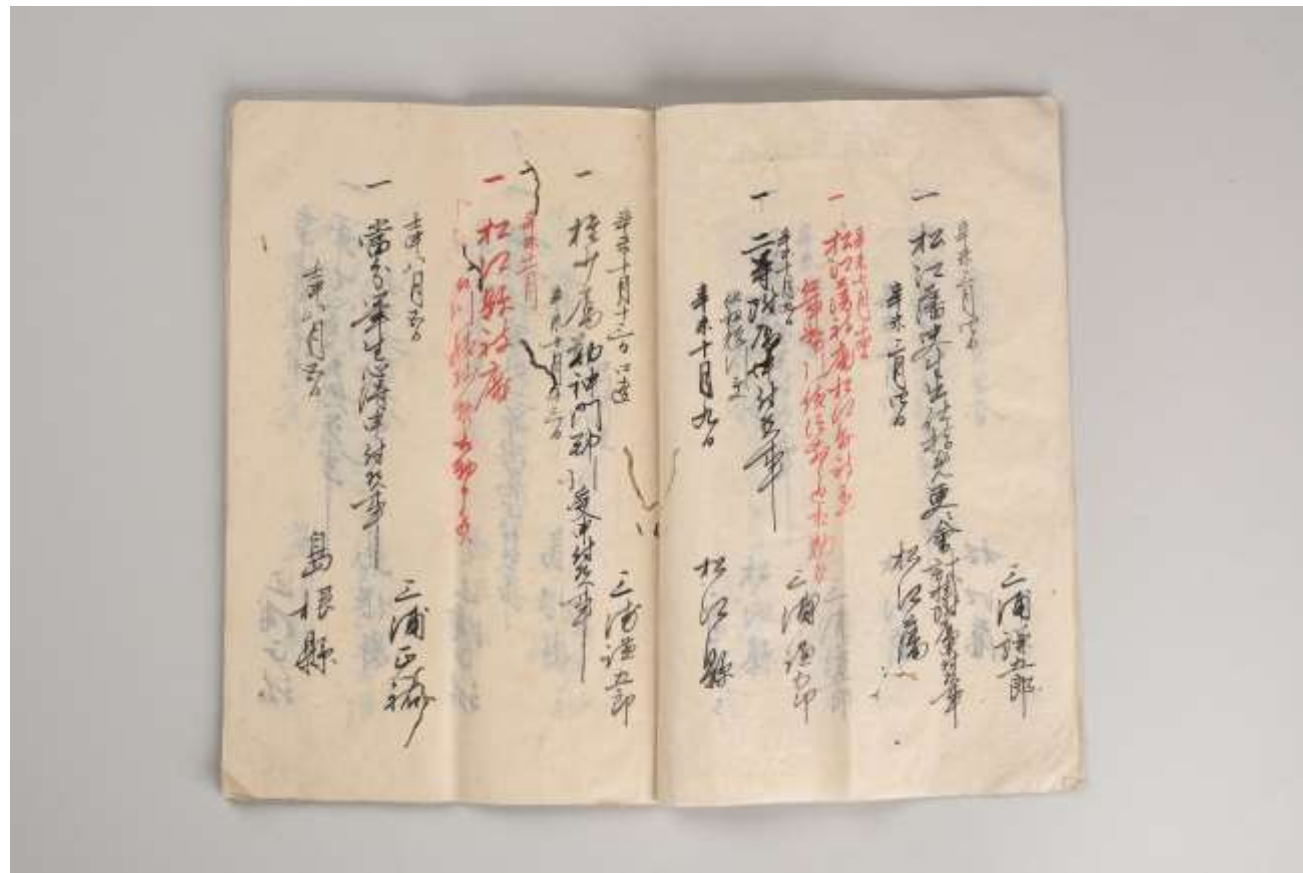


簾細工職人 長崎仲蔵が制作した煙管入(当館蔵)



教師 久保田愛之丞が使った算木(当館蔵)

松江藩士から島根県の役人へ 三浦^{まさ}正^{すけ}祐(1838~1893)の履歴書



(明治22年、当館蔵)

京都帝国大学の教授となった 三浦^{ひろ ゆき}周行(1871~1931)の時間割



(明治20年代、当館蔵)

三浦博士の略歴

明治4年、松江に生まれる

明治23年、帝国大学入学

明治26年、大学卒業
この年、父を亡くし三浦家を継ぐ

明治42年、京都帝国大学の教授に就任

昭和6年、没

松江藩士の行く末
明治時代の
サムライたち

■ 記念講演会

郷土松江が生んだ国史学の泰斗
三浦 周行 博士

講師：藤岡 大拙 名誉館長

日時：令和6年3月10日（日）
14:00～15:30



三浦周行の肖像

（実物は京都大学大学院文学研究科日本史研究室蔵）

みなさまのお越しを
お待ちしております



松江市立

松江歷史館

電話 0852-32-1607

